

寄贈図書リスト

「星雲星団ウォッチング」

浅田英夫著, B5判, 150 p, 2060 円, 地人書館,

「宇宙物理学シミュレーション」

J. M. A. Danby, R. Kouzes, C. Whitney 著,
R. Ehrlich, W. Mac Donald, N. Dworzecka 編,
福江 純監修/山本菊男訳, B5判, 212 p,
4326 円

月報だより

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

国立天文台教官

1. 助手 1 名
2. (1) 光学赤外線天文学研究系
(2) 当面, 東京都三鷹市 (近い将来ハワイ勤務もあり得る)
3. 光学赤外線天文学及び関連分野
4. 光学赤外線天文学研究系は大型光学赤外線望遠鏡計画推進部, 天文機器開発実験センター等と共に, ハワイに設置する「すばる」望遠鏡の建設を推進しています。「すばる」望遠鏡計画の推進と観測の研究に強い意欲を持って, 制御・解析ソフトの開発, 観測装置の開発・製作, 観測研究等の分野で, 活躍していただける若手研究者を求めます。
5. (1) 平成 8 年 7 月 1 日以降のなるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了, またはそれと同等以上の学力をもつ方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合には推薦書の他に, 前記事項 (1)~(5) の概要が分かる書類。
8. 締切: 平成 8 年 5 月 10 日 (金) 必着。
9. (1) 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2) 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台大型光学赤外線望遠鏡計画推進部
家 正則 TEL: 0422-34-3703
10. 封筒の表に「光学赤外線天文学研究系助手人事応募

書類在中」と朱記し, 簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議員会において行います。なお, 外国籍の方の場合, 法令に基づいて任期を定める場合があります。

国立天文台教官

1. 助手 1 名
2. (1) 広い意味の天文学 (分野は特定しない), (2) ハワイも含む国立天文台各施設のいずれか。採用内定後決定。
3. 大学の研究者とも共同して, 先端的研究を推進する研究者を望む。国際的成果をあげようという気概を持つ積極的な人を期待する。
4. 国立天文台には, 大型光学赤外線望遠鏡計画推進部, 光学赤外線天文学研究系, 太陽物理学研究系, 位置天文・天体力学研究系, 理論天文学研究系, 電波天文学研究系, 地球回転研究系などの研究組織が存在し, 大学共同利用機関として各分野の研究を推進している。
5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了, またはそれと同等以上の学歴の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究の概要), (3) 研究論文リスト及び主要論文別刷, (4) 研究計画, (5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先
8. 平成 8 年 5 月 31 日 (金) 午後 5 時必着
9. 〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
(1) 国立天文台長 小平桂一
(2) 国立天文台長 小平桂一
TEL: 0422-34-3650 FAX: 0422-34-3690
10. 封筒の表に「一般助手応募書類在中」と朱記し, 郵送の場合は簡易書留でお送り下さい

国立天文台教官

1. 助手 1 名
2. (1) 理論天文学研究系
(2) 東京都三鷹市
4. 理論天文学を推進し, 全国の理論の研究者との連携も視野に入れて, 観測的天文学と強いつながりの持っている若手の研究者を期待している。

5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了, またはそれと同等以上の学歴の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究の概要), (3) 研究論文リスト及び主要論文の別刷, (4) 研究計画, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先,
8. 平成8年5月31日(金)午後5時必着
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 小平桂一
- (2) 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台理論天文学研究室・観山正見
TEL : 0422-34-3738 FAX : 0422-34-3746
E-mail : miyama@yso.mtk.nao.ac.jp
10. 封筒に「理論応募書類在中」と朱記し, 郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。

新潟大学教育学部物理学専攻教員

1. 講師または助手1名
2. (1) 新潟大学教育学部理科教育講座
(2) 新潟市
3. 物理学 (宇宙物理学)
4. 物理学 (天文学を含む) の講義および実験
5. (1) 1996年10月1日 (なお事情によっては変更も可)
6. (1) 30歳前後 (2) 大学院修士課程修了以上またはそれと同等の業績を有する者 (3) 新潟市またはその近接地域に居住できる者
7. (1) 履歴書 (市販様式のものに写真貼付のこと)
(2) 研究業績 (a) 研究業績リスト, (b) 主要論文・業績の概要, (c) 主要論文の別刷 (コピー可) [業績リストおよびその概要については所定の様式によることが望ましい。]
(3) 大学院の修了証明書 (現在, 国立の大学, 高専及び研究機関等に在職中の者はこの限りでない)
(4) 推薦書 (添付することが望ましい)
(5) 採用後の専攻領域における研究計画 (2000字以内)
8. 1996年5月31日(金)必着
9. (1) 〒950-21 新潟市五十嵐町2の町 8050
新潟大学教育学部長 宛
(2) 新潟大学教育学部庶務係
電話 025 (262) 7104
10. 「物理学教員応募書類」と朱書の上, 書留郵便とすること。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

東北大学理学研究科天文学専攻教員

1. 1995年7月号
2. 服部 誠 (マックスプランク研究所)
山田 享 (理化学研究所)
李 宇珉 (ケンブリッジ大学)
3. 1996年4月1日
連絡責任者 土佐 誠
連絡先 東北大学理学部天文学教室 ☎ 022-217-6501
備考 募集人員2名の予定でしたが, 3名の採用が可能となりました。

研究会・集会案内

- 会合名: 第18回宇宙ステーション利用計画ワークショップ
開催日時: 平成8年5月27日(月)10:00~18:00
5月28日(火)10:00~18:00
開催場所: 早稲田大学 国際会議場
(住所: 東京都新宿区西早稲田1-6-1)
主催者名: 科学技術庁, 宇宙開発事業団, (財)宇宙環境利用推進センター
詳細問い合わせ先:
(財)宇宙環境利用推進センター 調査研究部
〒169 東京都新宿区西早稲田3-30-16
TEL: (03) 5273-2442
FAX: (03) 5273-0705
会合の内容: 科学技術庁, 宇宙開発事業団による宇宙環境部会の議論や具体的な実施方策等の紹介. 米国, 欧州, カナダ及びロシアからの動向に関する講演. 分科会代表による基調講演. 分科会における専門分野毎の意見交換. 模型, 実験装置等の展示.
参加費: 無料

国立天文台水沢観測センター施設公開のお知らせ

期日：平成8年6月8日(土)

午前10時から午後4時まで

場所：岩手県水沢市星ガ丘町2-12

国立天文台水沢観測センター

電話 0197-22-7111

公開施設：10 m アンテナ, 重力絶対測定室, コンピュータ室, 木村記念館等

講演会：

1：「地面は動くよいつまでも一止まらない不思議な地震のおはなし」

日置幸介（国立天文台地球回転研究系助教授）

2：題未定

出口修至（国立天文台宇宙電波研究系助教授）

学界動向

光学連合シンポジウム福岡'96 講演募集
(JAPAN OPTICS '96)

日本光学会では、第6回の光学連合シンポジウムを福岡で開催することになりました。この連合シンポジウムは、京都'92から一般講演を中心とした日本光学会の学術講演会として発足しました。光学および光技術に関連した新たな研究成果を広い分野から募って発表頂き、十分なディスカッションを行い、光学および光技術の新しい発信源となるようにしたいと考えております。なお今回は、特別講演および「大型プロジェクトに見る先端レーザー技術、ニューラルネットワークとイメージサイエンス」に関するスペシャルセッションを開催する予定です。各方面から多数の方が参加される学際的なシンポジウムとなりますよう奮ってご応募下さい。

日時：1996年9月6日(金) 9:00~17:00 (講演会終了後に懇親会を行います。)

7日(土) 9:00~17:00

場所：九州大学箱崎地区(福岡市東区箱崎6-10-1, 九州大学工学部)

福岡空港, JR 博多駅からは地下鉄をご利用下さい。(所要時間20~25分)

福岡空港→博多→中洲川端(貝塚行に乗換)→箱崎九大前下車

主催：日本光学会(応用物理学会)

共催：応用物理学会光波センシング技術研究会, 同新画像システム研究会, 応用光学懇談会

協賛(依頼中)：画像電子学会, 計測自動制御学会, 情報処理学会, 照明学会, 精密工学会, テレビジ

ン学会, 電子情報通信学会, 日本機械学会, 日本写真学会, 日本色彩学会, 日本天文学会, 日本分光学会, 日本非破壊検査協会, 日本物理学会, レーザー学会, (社)日本オプトメカトロニクス協会, (財)光産業技術振興協会

後援(依頼中)：福岡市

募集内容：光学および光技術がカバーする全分野の新しい研究で未発表のもの

応募資格：日本光学会, 応用物理学会および共催・協賛学協会会の会員

参加費：・事前登録 一般(上記学協会員)3,000円, 一般(非会員)4,000円, 学生1,000円

・当日受付 一般4,000円, 学生1,000円 (事前登録も当日受付も支払いは当日)

予稿集代：会場渡し(支払いは当日)1,500円, 予稿集のみ(着払い宅急便)4,000円

懇親会費：予約(支払いは当日)4,000円,

当日申込 5,000円

講演時間：質疑応答を含め20分(予定)

講演方法：OHPを使用した口頭発表のみの予定です。

他機材の使用希望の場合はお問い合わせ下さい。

講演申込方法：(1)本申込書, または光学25巻(1996年)4号, 5号の講演申込書(1講演につき1枚)

(2)住所, 氏名を記入した返信用のはがき(1講演につき1枚)を同封して, 下記の講演申込郵送先宛に必ず郵送にてお申し込み下さい。

講演申込締切：1996年6月24日(月) 正午必着

予稿集原稿：図, 表, 写真を含めてA4判2頁のカメラレディ原稿(ワープロまたはタイプ)を提出して頂きます。詳しくは, 光学25巻(1996年)4号, 5号の予稿の書き方を参照下さい。

予稿原稿締切：1996年7月22日(月) 正午必着

参加申込締切：1996年8月19日(月) 講演者も必ず参加申し込みをして下さい。

問い合わせ先：九州大学工学部応用理学教室

永山 邦仁

Tel: 092-642-3806 (4/1より)

Fax: 092-642-3828(シンポジウム専用) (4/1より)

E-mail: hakatap@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp (シンポジウム専用)

講演申込郵送先：

〒812-81 福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学工学部応用理学教室 永山研究室内
日本光学会(応用物理学会)「光学連合シンポジウム福岡'96」係

研究助成

天文学振興財団助成公募

下記により、IAU アジア太平洋会議(釜山 8/19-23)などの国際研究集会に参加するために必要な旅費の援助を行います。

平成8年4月20日

天文学振興財団理事長 古在由秀

1. 対象：平成8年度中に海外で開催される天文学関連の国際研究集会(10日以内)に参加する研究者。
2. 助成：往復旅費など、参加に要する経費の一部について、数件程度。
3. 選考結果：選考委員会で審査の上、平成8年6月末頃に決定予定。
4. 報告：帰国後1カ月以内に報告書を提出。
5. 申請：Faxまたは葉書で申請書を事務局あてに請求のこと。
提出締切は平成8年6月10日(月) 必着。
6. 問い合わせ先：

〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内 天文学振興財団事務局

Tel. 0422-34-3659

Fax. 0422-34-3690

**第13回(平成8年度)井上學術賞
受賞候補者推薦要項**

財団法人 井上科学振興財団

1. 候補者の対象：自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた研究者。

ただし、年齢が平成8年9月20日現在で50歳未満の研究者に限ります。

2. 学術賞：本賞：賞状及び金メダル

副賞：200万円

授賞件数は5件以内とします。

(注) 受賞者は、原則として1件につき1人とします。特に複数であることを必要とするときは、それらの研究者の寄与が同等であることを示してください。ただし、この場合についても1件として取り扱います。

3. 推薦依頼先：下記の26学会、並びに当財団の役員・評議員に推薦を依頼します。
4. 推薦件数：各推薦学会または各推薦者から、それぞれ1件とします。
5. 提出方法：所定の推薦書用紙に必要事項を記載し、写し3部を添えて(計4部を)天文学会あてに提出願います。
6. 学会締切：平成8年8月20日(火)
7. 選考方法：申請が複数のときは、天文学会において推薦者を選定します。
8. 学術賞の贈呈：平成9年2月4日(火)の予定(選考の結果は、平成8年12月中旬に推薦者に通知します。)

9. 推薦者提出先及び連絡先：

財団法人 井上科学振興財団

〒150 東京都渋谷区猿楽町 11 番 20 号

電話：東京 03-3477-2738

FAX：03-3477-2747

日本数学会	日本応用数理学会
日本物理学会	日本化学会
地震学会	地球電磁気・地球惑星学会
日本気象学会	日本天文学会
日本地質学会	日本人類学会
日本遺伝学会	日本動物学会
日本植物学会	日本分子生物学会
日本生化学会	応用物理学会
電気学会	電子情報通信学会
日本金属学会	高分子学会
日本農芸化学会	日本生理学会
日本薬理学会	日本解剖学会
日本病理学会	日本薬学会

(26学会)

「第3回（平成9年度）井上フェロー」の採用許可を希望する研究者 募集要項

平成8年4月

財団法人 井上科学振興財団

趣 旨：基礎科学分野の新しい開拓的發展を目指す
45歳未満の優秀な研究者が自身の研究計画の推進に
有力な協力が得られると考える若手研究者を自分で選
定し、井上フェローとして採用して当該研究計画に参
加させるための助成です。

応募資格：

- (1) 国公立大学の原則として大学院博士課程の教員、
並びに大学共同利用機関に所属する常勤の研究者。
- (2) 45歳未満（締切日現在）であること。

採択予定数：10名

採択された研究者（研究計画担当者）の研究計画に参
加する井上フェローはそれぞれ1名とし、次の条件で採
用します。

井上フェロー：

- (1) 対 象 ……平成9年4月1日現在で35歳未満の
博士号取得者。外国人も可。
- (2) 選 定 ……採択研究者（研究計画担当者）がフェ
ロー候補者を選定し、井上科学振興財団が井上フェ
ローとして採用します。但し、フェロー候補者の
選定に当たっては、研究計画担当者の出身又は現
在所属の「大学院専攻」の出身者、在籍者又は所
属教職員以外から選定していただきます。
- (3) 採 用 ……フェローの採用開始は、平成9年4月
1日から1年以内の間とし、採用期間は、採用開
始後2年間です。
- (4) 支給経費 ……井上フェローには、採用期間中、次の
額を支給します。

研究奨励金 月額 33万円

往復国際航空運賃等（外国人の場合）

申請手続：当財団に申請用紙を請求の上、所定事項を記
入して、申請者から当財団に提出してください。

提出書類：井上フェロー採用許可希望申請書……正本1
部・写し2部（計3部）

受付期間：平成8年6月1日～9月20日

（当日消印有効）

選 考：当財団の選考委員会において選考し、理事会
において決定します。結果は平成8年12月下旬に申
請者に通知します。

申請用紙：申請用紙の請求は、「井上フェロー申請用紙
請求」の旨、及び受取人の郵便あて先を明記して、当
財団に郵便（又はFAX）で9月10日までに行ってく

ださい。

資料請求・問い合わせ先：財団法人 井上科学振興財団
〒150 東京都渋谷区猿楽町11-20

TEL 03-3477-2738 FAX 03-3477-2747

日本天文学会早川幸男基金 研究援助募集要項

日本天文学会 早川幸男基金（若手海外学術研究援助
基金）内規に基づき、海外学術研究に対して援助を希望
する者を募集（1996年度第2期）致します。

1. 援助金総額 年間約150万円
2. 援助件数 年間数件程度
3. 募集対象期間 1996年7月1日～9月30日の間に
日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わず
すでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて
応募して下さい。
4. 応募必要書類（A4紙に統一すること）
原本1部、コピー5部。但し(7)、(8)についてはコ
ピー不要。
 - (1) 応募用カバーシート（今月号次頁の応募用
紙をA4に拡大コピーして使用する）
 - (2) 論文リスト
 - (3) 観測については、観測割当通知および観測提案の
写しか、それに準ずるもの
 - (4) 国際共同研究については、渡航先の招聘状および
研究計画の概要
 - (5) 研究会参加については、当該研究会開催の主旨
を説明する資料、プログラム、および応募者の寄
与（口頭発表等）を証明するもの
 - (6) 大学院生の場合、研究指導者の意見書
 - (7) 航空運賃の見積書
 - (8) 関連研究論文の写し（一編）
5. 応募締切：1996年6月10日
6. 決定時期：1996年6月下旬
7. 応募書類送付先：
〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内
日本天文学会 早川基金募集係

□ 早川基金内規（天文月報第85巻第12号参照）によ
る援助対象資格は「日本天文学会会員で、原則として
35歳以下の天文学研究者であって、この基金以外の
海外渡航費（滞在費を除く）の援助を受けない者。」
です。

1996年度はこの後、9月、12月の10日締め切り
で募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備を
してください。

早川基金応募カバーシート

(本頁をA4に拡大コピー・記入して、応募用紙の最初に添付して下さい)

氏名	(会員番号：)		生年月日	19 年 月 日 (歳)
所属			身分	大学院 (修士・博士) 課程 年生
援助希望の内容	(観測・国際共同研究・国際研究集会) その他 []			研究生・学振 (PD・DC) (常勤・非常勤) 職員 [職名：]
渡航期日	年 月 日～ 年 月 日			その他 []
渡航期間：	渡航場所	渡航費見積金額：		円
研究略歴				
渡航歴および旅費の出所：				
渡航の主旨：				
国際研究集会についての寄与： 1.口頭発表, 2.ポスター, 3.その他 []				

平成8年度 { 東レ科学技術賞 } について

東レ科学振興会より下記の概要が届けられましたので、お知らせします。

要項は6月頃できるようですが、入手次第「月報だより」に掲載します。

I. 東レ科学技術賞 (概要)

- 1. 候補者の対象……貴学協会に関する分野で、下記に該当するもの
 - (1) 学術上の業績が顕著なもの
 - (2) 学術上重要な発見をしたもの
 - (3) 重要な発明をして、その効果が大きいもの
 - (4) 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献したもの
- 2. 科学技術賞……2件前後、1件につき、賞状、金メダル及び賞金500万円
- 3. 候補者推薦件数……1学会から2件以内
- 4. 推薦締切日……平成8年9月10日(火)天文学会必着

II. 東レ科学技術研究助成 (概要)

- 1. 候補者の対象……貴学会に関する分野で国内の研究機関において基礎的な研究に従事し、今後の研究の成長が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究を活発に行っている若手研究者
- 2. 研究助成金……総額1億3千万円、1件3千万円程度まで10件程度。
- 3. 候補者推薦件数……1学会から2件以内
- 4. 推薦締切日……平成8年9月10日(火)天文学会必着

1996年地球化学研究協会学術賞「三宅賞」および「研究助成」について

三宅賞

- 1. 本賞は地球化学に顕著な研究業績をおさめた科学者に贈呈します。
- 2. 本賞は賞状とし、副賞として賞牌および賞金(30万円)をそえます。
- 3. 本賞の贈呈は、1年1件(1名)とします。
- 4. 規定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由(400字程度)、主な論文10編程度に略歴をそえて、協会事務所までお送り下さい。

研究助成

- 1. 研究助成は地球化学の研究者で、海外における学術調査研究などに参加する者、ならびに海外のシンポジウム等に出席し論文を発表する者に対して行われます。
- 2. 助成金は1件10万円とし、年に数件とします。
- 3. 規定の用紙に推薦候補者(各締切日において満40才迄とする)の海外調査に関しては、略歴、研究業績、調査地(国名、地域名)、調査目的・計画、推薦理由、同行者などを記入し、海外のシンポジウム出席については、略歴、研究業績、国際会議名(主催団体、開催場所、開催年月日)、論文題目、推薦理由等を記入して、協会事務所までお送りください。

三宅賞の贈呈および研究助成者の発表は、1996年12月7日(土)、東京で行います。

学会締切日：三宅賞は、1996年7月31日、研究助成は、第1回締切1996年7月31日、第2回締切1996年12月15日。

□ 申込用紙は天文学会事務室に用意してあります。

地球化学研究協会

〒166 東京都杉並区高円寺北4-29-2-217
電話 03-3330-2455 (FAX 兼用)

編集委員	関口和寛 (編集長)、末松芳法、田代 信、辻本拓司、中川貴雄、林 左絵子、平野尚美、宮坂正大
平成8年4月20日	発行人 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内
印刷発行	印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12
定価700円 (本体680円)	発行所 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内
	電話 (0422) 31-1359 (事務室・月報)
	5488 (欧文編集)
	5487 (FAX 専用)